

報道関係者各位

2026年5月14日
東京ミッドタウンマネジメント株式会社

5月10日（日）「日比谷ライブパフォーマンスアワード」開催レポート

演出家・宮本亜門さんやエンターテイナー・城田優さんが日比谷に登場 唯一無二の世界観で観客を魅了したONさんがグランプリ 若手アーティストの発掘と活動支援を目的に刷新された新アワード

東京ミッドタウン日比谷（千代田区有楽町／事業者：三井不動産株式会社）を運営する東京ミッドタウンマネジメント株式会社は、若手アーティストの発掘と活動支援、ライブパフォーマンスの魅力を伝えることを目的とした「日比谷ライブパフォーマンスアワード」を2026年5月10日（日）に開催しました。

本アワードでは、審査委員長を務める演出家・宮本亜門さんをはじめ、エンターテイナー・城田優さん、ダンスパフォーマンスグループs*t kingzのshojiさん、ヴァイオリニスト・宮本笑里さん、音楽ユニット・ペルピNZを含む多彩な審査員5組が参加。ペルピNZによるオープニングアクトで幕開けた本アワードは、東京ミッドタウン日比谷の特設ステージを舞台に白熱した公開審査となりました。ファイナリスト9組が、観客と審査員の前でライブパフォーマンスを披露し、厳正な審査の結果、グランプリにジャンル・四腕の『ON』さんが選出されました。受賞者には、国内外での舞台体験や城田優さんとの特別対談、音楽ユニットのペルピNZとのコラボレーションなど、多様な支援プログラムが贈られます。



【グランプリはジャンル・四腕の『ON』さんが受賞！】

厳正な審査の結果、グランプリには独創的なステージを披露した『ON』さんが選出されました。これまでにない“四腕”という表現で、人間の身体性を拡張するかのような4本の腕を用いた演出により、観客と審査員を一気にその世界観へと引き込みました。審査員からは、圧倒的なオリジナリティと高い完成度が評価されたほか、コミカルさと衝撃性を兼ね備えたパフォーマンスが、今後のさらなる発展と新たな表現の可能性を感じさせる点が高く評価されました。



<プロフィール>

ON（オン） / ジャンル：四腕

「四腕」を扱う表現者。学生時代にクラウンを始め、そこでジャグリングやパントマイムなどに触れる。同時期に演劇やコンテンポラリーダンスの団体に所属し、ジャグリングの技術を基盤としたオブジェクトを扱う作品の制作にも励む。それらの集大成として、自分の体でもありオブジェクトでもある四腕による演技を見出し、ジャンルに捉われない技術・表現を模索している。

【審査委員長 宮本亜門さんコメント】

グランプリ受賞者/ファイナリストについて

映像審査を含め200名以上のパフォーマンスを見させていただきましたが、全員に才能があり、グランプリを決めるのは本当に難しかったです。その中でグランプリのONさんは、人がやったことのない表現をどれほど考え抜いたかが伝わってきて、『人間ってこんなに面白い可能性があるのだ』と感じさせてくれる素晴らしい才能でした。今日出演してくれた皆さんが大きく羽ばたいていくことを願っています。



【城田優さんとの特別対談】

グランプリ受賞者には、特典の一つとして、審査員を務めた城田優さんとの特別対談の機会が提供されました。対談では、世界に向けたエンターテインメントの可能性や、表現者としての在り方について意見が交わされました。

■ライブならではの“戦略”と“瞬間性”

対談では、グランプリ受賞者・ONさんのパフォーマンスの裏側が語られました。ONさんは、他の出場者の高い技術力を踏まえ「あえて技術勝負はしない」と判断し、演出を削ぎ落としたシンプルな構成を選択。また、音に動きを合わせるのではなく、その場の空気や観客・審査員の反応を捉えながら即興的に表現を組み立てるなど、“ライブ感”を重視したパフォーマンスを追求しました。城田さんも「観る人にどう感じてもらうかを考えることが重要」と共感を示し、その場を取り込む姿勢をライブパフォーマンスの本質として高く評価しました。



■世界を見据えた受賞者の挑戦

今後の活動についてONさんは、「言葉に頼らない表現だからこそ、世界中のさまざまな場所でパフォーマンスを届けていきたい」と語り、グローバルな展開への強い意欲を示しました。また「自分の身体を客観的に観察しながら表現を探究している」と語るなど、表現者としての探究心の高さも印象づけました。



■城田優さんが語る野望と次世代へのエール

城田さんは、ONさんの圧倒的な才能に触れ、「日比谷から世界へ、このパフォーマンスを全世界で披露してほしい」と大きな期待を寄せました。さらに、「将来的には、このアワードに特別審査員として帰ってきてほしい」と、自身の想いも込めた展望を語りました。

また城田さん自身も、現在は演出やプロデュースといった裏方としての活動にも力を入れており「日本発のオリジナリティあるエンターテインメントを創り、世界へ届けていきたい」という強い志を明かしました。そのうえで、「自分の信念や好きなものを貫き、個性を存分に発揮してほしい」と受賞者ONさんへエールを送り「これまで多くの方に夢を叶えさせてもらったからこそ、今後は新たな才能の育成や、誰かの夢を後押しする存在でありたい」と、次世代の表現者たちへの思いを力強く示しました。

【今後の展望】

本アワードは、これまで「NEXTアーティスト」として培ってきた若手アーティスト支援の実績を基盤に、ライブパフォーマンスという“その瞬間にしか生まれない表現”に焦点を当てた新たなステージへと進化しました。

今後は、日比谷という多様な芸術文化が交差する街の特性を活かしながら、観客とともに体験するライブならではの熱量や創造性を評価する場として、さらなる発展を目指してまいります。また、本アワードを通じて選出されたアーティストが国内外へと活躍の場を広げ、次世代のライブエンターテインメントを担う存在へと成長していくことを期待しています。

東京ミッドタウン日比谷では、引き続きアーティスト一人ひとりの挑戦を後押しするとともに、新たな才能と出会う機会を創出し、芸術文化・ライブパフォーマンスの魅力を広く発信してまいります。

「日比谷ライブパフォーマンスアワード」概要

「日比谷ライブパフォーマンスアワード」の最大の特徴は、毎年約50万人以上を動員するエンターテインメントの祭典「HIBIYA LIVE FESTIVAL」のメインステージにファイナリストが立ち、審査員および一般の観客の目の前でライブパフォーマンスを披露する点にあります。作品の完成度のみならず、その場で生まれる表現、観客を巻き込む空気感、生の舞台でこそ発揮されるライブ性を重視した審査によって、“世界に羽ばたく日本の才能”を選出いたしました。

主 催：東京ミッドタウン日比谷、株式会社WM

企画制作：株式会社WM

オフィシャルサイトURL：<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/live-performance/finalist/>

『HIBIYA LIVE FESTIVAL 2026』開催概要

主催：一般社団法人日比谷エリアマネジメント／東京ミッドタウン日比谷

助成：アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】 ※対象事業：ステップライブ

後援：千代田区

期間：2026年4月25日（土）～5月31日（日）

概要：都市型エンターテインメント・フェスティバルとして進化した「HIBIYA LIVE FESTIVAL 2026」。さまざまなジャンルのパフォーマンスや多彩なプログラムで「ライブ体験」の“感動”をお客様にお届けします。

ミュージカルやオペラ、バレエなどの舞台芸術をオープンエアの下、無料で楽しめる「ステップショー」や実力派アーティストによる「ステップライブ」などのプログラムが目白押し。また、「音楽」にもフォーカスし、ジャズやマーチングバンドなどの音楽ライブを開催。

※詳細は Web サイト、公式 X をご覧ください

● **オフィシャルサイト URL：**

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/hibiya-live-festival/>

● **HIBIYA LIVE FESTIVAL 2026 公式 X (旧 Twitter) アカウント URL：**

<https://x.com/hibiyafestival>

● **HIBIYA FES CHANNEL オフィシャル YouTube URL：**

<https://www.youtube.com/channel/UCR40B9BK-oyQT4si4slhJPg>

東京ミッドタウン日比谷について



東京ミッドタウン日比谷は、オフィス、ショップ、レストラン、映画館などの施設が集まった複合施設です。映画・演劇の街として知られる日比谷エリアの上質な文化や、日比谷公園が隣接する自然豊かな環境を活かし、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指しています。

<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/about>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪とらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



